

「秋田県立大学ウェブジャーナルB」の創刊にあたって

秋田県立大学学長 小間 篤

秋田県立大学は、「21世紀を担う次代の人材育成」と「開かれた大学として、秋田県の持続的発展に貢献」することを理念として、1999年に創立され、2015年3月で満15年を迎える。この間、教育、研究、地域貢献の各分野でさまざまな活動に積極的に取り組み、多くの成果を挙げてきた。

本学では、地域貢献活動における成果をより広く発信することを目的として、2014年3月にウェブジャーナルAを発刊したが、今回発刊するウェブジャーナルBは、ウェブジャーナルAの姉妹誌として、本学における研究活動の成果を、Short Report（実験や調査によって得られた価値ある結果を簡潔に報告するもの）として、いち早く発信することを目的としている。

本学では、研究活動をより活性化するために、科学研究費等の競争的資金への応募を推奨する一方、「重点研究」、「創造的研究」、「研究シーズ活用・実用化事業」等の枠組みを作って、学内公募による研究支援活動を行っている。ウェブジャーナルBは、これらの学内資金の支援による研究の成果をいち早く発信するのに活用していくが、もちろんそれ以外の研究活動に関する Short Report としての投稿も歓迎する。

創刊号である本号では主として2013年度の学内資金による研究成果を掲載しているが、経過措置としてウェブジャーナルへの投稿を任意としたため掲載論文数が少なくなっている。次号からは数十本の Short Report が掲載される予定である。

ウェブジャーナルA、Bとも、本文は日本語を原則としているが、日本語圏以外の読者にも概要が分かるよう、すべての論文には英文タイトル、英文アブストラクトを付けている。またプリントアウトした論文に付けるハードカバーを用意して、必要に応じて、論文別刷りを容易に配付できるようにしている。

ウェブジャーナルBの発刊によって、今後本学における種々の研究活動結果がいち早く発信され、また教職員の研究活動が一層活性化することを期待したい。

平成26年9月